

草津市長のマニフェスト（「もっと草津」宣言） 市民による検証・評価シート

この冊子は、今年で3年目を迎えた草津市長のローカル・マニフェストを市民のみなさまに検証・評価いただくために作成いたしました。

冊子には、市長の自己評価やロードマップのデータ及び参考となる事項を記載しています。

また、別紙で検証・評価結果を送付いただくためのシートを添付しています。

多くの方々からのご提出をお待ちしています。

なお、結果については来る9月20日（敬老の日）の14時から草津アミカホールにて開催予定のマニフェスト検証大会にて発表いたしますので、お誘いあわせの上ご参加いただけますようお願いいたします。



発行：市民によるマニフェスト検証大会実行委員会 事務局：社団法人草津青年会議所

草津市草津3丁目14-44 電話 077-562-0489 FAX 077-562-6221

ホームページ <http://kaikaku21.com> 電子メール manifesto@kaikaku21.com

検証・評価にあたって

この資料は、草津市長のマニフェスト（「もっと草津」宣言）を市民のみなさまに検証・評価いただくために作成いたしました。
マニフェストで掲げられている各施策について、別紙シートに記入の上、FAX等により返送してください。
評価基準は、市長の自己評価および下記「評価にあたって」を参考にして、A～Eの5段階で評価してください。

※必ずしもすべての項目にお答えいただく必要はありません。

A

良い

B

概ね良い

C

普通

D

やや悪い

E

悪い

(参考) 比較対象とする市長の自己評価基準

着実に実施し、
具体的成果概ね順調で、
一定の成果課題等あり、
引き続き努力具体的な取り
組みが不十分具体的な取り組みに
着手できていない

【評価にあたって】

- ①事業は妥当なものですか？ ②事業の成果や効果はありますか？ ③費用対効果（コストパフォーマンス）はいかがですか？
④情報の公開や市民の参画はありますか？ ⑤市長のリーダーシップや行政の熱意に問題はありませんか？
⑥もっと良い方法、みんなが納得できるやり方はありませんか？

【評価シートの送付先】 評価シート（別紙ピンク色の用紙）は、下記まで送付してください。

F A X 0 7 7 - 5 6 2 - 6 2 2 1 又は 回収ボックスまで

ホームページ <http://kaikaku21.com> から送付することもできます！

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 心 1－1	保育士巡回による家庭・育児相談の実施	H 20 決算額 1,138万円	A	☆生後4か月までと生後6か月の2回、乳児を対象として育児等の相談のための乳児宅訪問を実施。また、支援が必要な時は、育児指導や家事のためのヘルパーを派遣。
		H 21 実績額 1,527万円		
安 心 1－2	子どもの居場所（地域の広場と公園）の整備	H 20 決算額 1,304万円	B	☆児童公園等の遊具等を、設置年度の古い順に計画的に改修・整備。
		H 21 実績額 1,260万円		
安 心 1－3	学童保育の延長（小学6年生まで実施）	H 20 決算額 9万円 (学童保育除く)	C	☆学童保育の延長を補完するモデル事業として、「放課後子どもプラン」に基づく放課後こども教室を試行。 ☆学童保育については、特に必要な児童を対象として、平成21年度は小学4年生まで、22年度は小学5年生まで受入れを拡大。 23年度には、小学6年生まで拡大予定。
		H 21 実績額 228万円 (学童保育除く)		
安 心 1－4	就学前の子どもたちの環境の点検と改善 (保育園・幼稚園の環境整備、病児保育の環境整備)	H 20 決算額 14,892万円	C	☆草津市公立保育所運営検討委員会を設置し、待機児童解消等について検討。☆私立認可保育園2園の増改築により90人の保育定員増を図るとともに、さらに私立認可保育園の整備を促進。☆子育て支援の充実に向け、病後児保育を病児保育（小学3年生まで）へと拡大。☆老朽化した笠縫幼稚園舎改築を計画。☆学童保育の延長を補完するモデル事業として、「放課後子どもプラン」に基づく放課後こども教室を試行。☆学童保育については、特に必要な児童を対象として、平成21年度は小学4年生まで、22年度は小学5年生まで受入れを拡大。23年度には、小学6年生まで拡大予定。
		H 21 実績額 24,960万円		
備考欄		平成22年度事業		
すこやか訪問事業 2,119万円（赤ちゃんのいる家庭への訪問、相談、ヘルパー派遣等） 若草西児童公園、西一耘干場第四児童遊園の整備 1,000万円 児童育成クラブ施設整備費 1億3,257万円（「のびっ子」老上の新設、「のびっ子」志津の増設）、児童育成クラブ運営費 1億3,257万円 地域子育て支援環境緊急整備事業 3,283万円（県負担） 市立保育所老朽遊具の更新、私立認可保育園補助、他				

政策 1 もっと安心！草津の教育・福祉

施策 2 子どもの発達支援を行います！

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 心 2－1	「子育て支援センター」の拡充	H 20 決算額 2 9 7 万円	C	☆子育て支援センターの機能を強化し、「総合子育て支援センター」として位置付けた事業展開を実施。
		H 21 実績額 3 9 7 万円		
安 心 2－2	教育・医療・福祉機関が連携する 発達支援ネットワークの整備	H 20 決算額 1 2 0 万円	C	☆発達指導にかかわって、高い専門性を持つN P Oに、専門指導および支援を委託。 ☆専門相談と保護者指導の実施。 ☆担当の指導主事を配置。
		H 21 実績額 2 4 0 万円		
備考欄				
平成22年度事業 ファミリー・サポート・センター運営委託費 675 万円（うちセンター運営委託費 540 万円） 地域子育て支援センター運営費 1,498 万円（草津保育所、みのり保育園） 地域における子育て支援団体の育成と活動支援 118 万円 集いの広場（市保健センター、ロクハ荘、イオンモール）の開催 794 万円（うち運営委託費 687 万円） 《子育て支援センターとは》市ホームページより要約 子育て相談 ・子育てに関する相談・サークルや一時保育の情報提供、電話相談、来所相談、園庭開放（毎週火・木曜日AM10:00~12:00） ・親子同士の交流や、保育所の子どもたちとの交流 遊びの広場 ・月一回 未就園の子どもとその保護者を対象に、手遊びや造形遊び、運動遊びなどを親子で楽しみ、互いに交流する場。 赤ちゃん広場 ・6か月未満の赤ちゃん と 保護者の方・妊婦さんを対象に子育てに関する悩みなどを話し合ったり、情報交換する場。 その他、特別講座（親子ふれあい遊びなど）、子育てサークルの育成・支援（サークルの立ち上げや活動相談）、情報誌の発行、出前育児講座（「親子で遊ぼう会」）、子育てサロンやサークル等への出前				

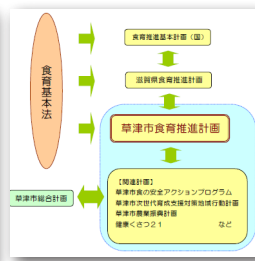
【市長の自己評価基準】 A：着実に実施し、具体的成果 B：概ね順調で、一定の成果 C：課題等あり、引き続き努力 D：具体的な取り組みが不十分 E：具体的な取り組みに着手できていない

政策 1 もっと安心！草津の教育・福祉

施策 3 草津市の教育環境を改善・充実させます！

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
安心 3-1	「草津ならではの！」の「知育・徳育・体育・食育」プログラムの実施	H 20 決算額 1,605 万円 ----- H 21 実績額 2,267 万円	B	☆「草津市食育推進計画」を策定し、計画を基にした食育講座、調理実習を実施。 ☆「教育振興基本計画」を策定。「草津市子どもが輝く学力向上プログラム」を実施。
安心 3-2	学校の教職員の増員（1校当たり1名増員）	H 20 決算額 — ----- H 21 実績額 4,623 万円	A	☆各小学校に特別支援教育コーディネーターをサポートする教員を配置。各中学校にスタートアップナビゲーターを配置。
安心 3-3	市立小中学校のトイレの改修	H 20 決算額 4,484 万円 ----- H 21 実績額 12,605 万円	B	☆市内 5 小学校のトイレを改修。市内 3 中学校についても今後実施予定。
安心 3-4	教育問題相談体制（専門家等による） の整備	H 20 決算額 81 万円 ----- H 21 実績額 145 万円	A	☆弁護士、社会福祉士をアドバイザーとした教育相談体制の整備を実施。
安心 3-5	教育委員会の改革（教育委員の公募制の導入等）	H 20 決算額 — ----- H 21 実績額 —	A	☆平成 20 年度と平成 21 年度において、公募により 1 名ずつ教育委員を任命。

備考欄



草津市子どもが輝く学力向上プログラム

- ◇ すべての子どもを対象とする漢字検定、計算検定、英語検定の取り組みを進めます。
- ◇ 朝のモジュール学習を通して、子どもの学びの姿勢を育成します。
- ◇ 社会で自己実現できる力を育て、生きる力の育成を図ります。
- ◇ 各種検定やテストにより子どもの学力状況を把握し、学力課題の克服に努めます。
- ◇ 家庭と協力して振り返り学習が定着するよう努めます。



【市長の自己評価基準】 A：着実に実施し、具体的成果 B：概ね順調で、一定の成果 C：課題等あり、引き続き努力 D：具体的な取り組みが不十分 E：具体的な取り組みに着手できていない

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 心 4－1	市立図書館と学校図書館の 図書整備・更新の推進	H 20 決算額 3,565 万円	B	☆市立図書館において、児童図書を充実。(児童一人あたり 7.0 冊) ☆全小学校の蔵書のデータベース化を行い、学校図書館運営サポーターを配置。 ☆平成 22 年度において、全中学校の蔵書のデータベース化と学校図書館運営サポーターの配置を予定。
		H 21 実績額 4,125 万円		
安 心 4－2	図書館と連携・ボランティアの活用 による読書教育や書籍選定の実施	H 20 決算額 —	C	☆学校図書館支援センター支援員および P T A ボランティアに対する図書講習会を実施。
		H 21 実績額 —		
備考欄				
平成 22 年度事業 小・中学校、幼稚園図書整備費 2,324 万円 全中学校の蔵書のデータベース化（完了した学校には、運営サポーターを配置） 1,046 万円 草津市立南草津図書館は、平成 22 年度子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞。 南草津図書館は、去年の事業仕分けの対象として取り上げ、「民間委託の拡充、市民との協働」との判定から指定管理者制度を導入する方針を決めた。(導入すれば、京滋の自治体で初のケース)				

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
安心 5-1	小学校6年生まで（追加により中学校卒業までとする）の小児医療費（入院費）の無料化	H 20 決算額 143 万円 ----- H 21 実績額 540 万円	A	☆中学生までの入院にかかる医療費が無料となるよう、保険適用医療費の自己負担分を助成。
安心 5-2	国民健康保険税の引き下げ	H 20 決算額 — ----- H 21 実績額 —	D	☆当初黒字であった国保会計が、国の医療制度改革や医療費の拡大の影響で急激に悪化し、制度を維持できない状況に陥った。 こうしたことから、当初予定していた予算額（約 3500 万円）の一般会計からの繰り入れに加え、新たな制度を設け、1 億 5,624 万円の繰り入れを行ったが、国保税の引き上げも行わざるを得なくなった。

備考欄

平成 22 年度事業

小中学生入院医療費助成 600 万円

《留意事項》

国民健康保険税の引き下げについて、マニフェストでは平成 21 年 4 月より毎年 3,500 万円を拠出して実施すると明記されているが現時点では実行されていない。

草津市広報より →

増え続ける医療費、伸び悩む国保税収入

市の国保財政は、昨年度から大変厳しい状況です。収入に不足が生じたときのために積み立てていた積立金を全額取り崩しても、収入が不足し赤字になる見込みです。平成22年度に税率を改正しなければ、昨年度の不足分とあわせて赤字額が膨らみ、事業が運営できない状態になってしまいます。

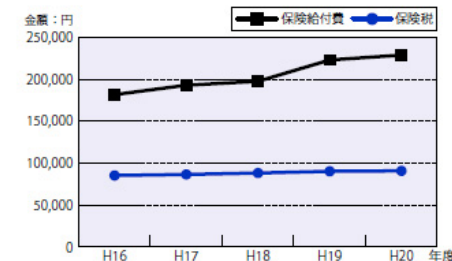
【主な要因】

支出面…医療費の増大です。加入者の年齢が高くなっていること、高度医療に伴う医療費が高額となっていることなどが主な理由です。

収入面…国保税の収入が伸びていないことです。後期高齢者医療制度が創設され、加入者が減少したこと、経済情勢の低迷による所得の減少などが主な理由です。

1人当たりの保険給付費と保険税額

	H16	H17	H18	H19	H20
保 険 給 付 費	181,594円	192,823円	197,472円	222,891円	228,753円
伸 率	—	6.18%	2.41%	12.87%	2.63%
保 險 税	85,222円	86,479円	88,166円	90,233円	90,697円



保険給付費は、国保加入者（老人保健加入者を除く）の1人当たりで算出。
保険税は、国民健康保険（介護納付費分を除く）納付額を国保加入者（平成19年度までは老人保健加入者を含む）の1人当たりで算出。



分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
活 力 6－1	「男女共同参画推進条例」の制定	H 20 決算額 61 万円	B	☆「男女共同参画推進条例」を制定し、「第 3 次草津市男女共同参画推進計画」を策定。
		H 21 実績額 275 万円		
活 力 6－2	障がいのある人、外国人、高齢者、生活 が困難な市民への行政サービスの充実 (相談窓口、地域サロン、グループホームの開設)	H 20 決算額 621 万円	B	☆生活保護面接相談員および就労支援相談員を配置。 ☆市社会福祉協議会での活動を支援。(心配ごと相談、地域福祉コーディネート配置、地域まちづくりプランナー養成プログラム事業等) ☆地域サロンへの支援を充実。 ☆介護サービスの充実に向け、小規模多機能型居宅介護拠点の整備やグループホームの整備事業者を決定。
		H 21 実績額 8,190 万円		
備考欄		平成 2 2 年度事業		
男女共同参画セミナー開催 43 万円 生活保護事業 12 億 319 万円(うち生活保護費 11 億 6,957 万円) 自立支援給付に係る事業 10 億 4,199 万円(うち訪問系介護給付費 1 億 336 万円、養護施設費 7 億 4,712 万円) 地域生活支援に係る事業 2 億 708 万円 障害者福祉促進に係る事業 1 億 3,408 万円、心身障害者社会福祉施設整備補助 393 万円 湖南地域重症心身障害児生活介護施設整備負担金 443 万円、 発達障害者支援センター運営費 3,097 万円、児童デイサービスセンター運営費 4,249 万円 老人福祉施設入所措置費 4,589 万円、老人福祉推進事業 2,467 万円、地域サロン支援事業 697 万円 老人福祉センター等(ロクハ荘、なごみの郷)管理運営費 1 億 5,770 万円、在宅生活支援・在宅介護支援 8,512 万円、 緊急通報システム支援費 638 万円、長寿祝金等支給費 1,307 万円、地域密着型サービス拠点等施設整備費補助金 3 億 8,435 万円、 いきいき百歳畝王推進費 375 万円、認知症高齢者対策推進事業 408 万円、地域包括支援センター総合相談事業 3,668 万円				

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
活力 7-1	「草津市あんしんいきいきプラン」 の策定	H 20 決算額 646 万円 ----- H 21 実績額 34 万円	B	☆「草津市あんしんいきいきプラン」を策定し、老人福祉計画、介護保険事業計画のもと事業を推進。
活力 7-2	経験・資格・能力などを集積した 「高齢者能力活用システム」の構築	H 20 決算額 — ----- H 21 実績額 38 万円		

備考欄

平成22年度事業

高齢者労働能力活用事業費 2,335 万円

（うち、シルバー人材センターへの運営補助 2,204 万円）



←街道ふれあいサロン（市HPより）

草津市高齢者福祉計画
草津市介護保険事業計画
草津あんしんいきいきプラン
第4期計画
（平成21年度～平成23年度）

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
活力 8-1	市内の公共交通ネットワークの整備 (アクセス改善、バス路線の整備・拡充、乗合 タクシーの導入等)	H 20 決算額 600 万円	C	☆地域公共交通活性化再生協議会を設置し、「地域公共交通総合連携 計画」を策定。 ☆公共交通不便地域の解消に向けて、小型乗合旅客自動車（まめバス） による実証運行を開始。
		H 21 実績額 5,305 万円		
活力 8-2	JR 南草津駅への新快速停車の実現	H 20 決算額 —	C	☆「南草津駅新快速停車促進期成同盟会」を設立し、平成23年3月 ダイヤ改正時の新快速停車を目標に署名活動と要望活動を展開。
		H 21 実績額 30 万円		

備考欄

平成22年度事業 まめバス実証運行 1億5,181万円（全額県の負担）
南草津駅新快速停車促進規制同盟会運営補助 30万円

まめバス有料化のお知らせ

8月2日から、
まめバスの運賃が
200円になります

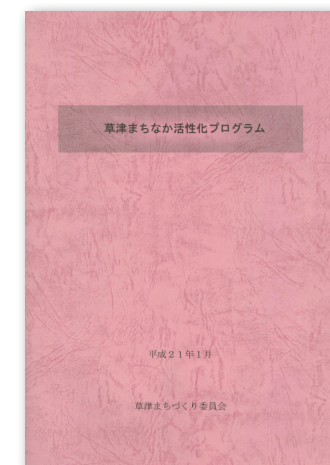


分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
活 力 9－1	定住を前提とした 「中心市街地活性化計画」の策定	H 20 決算額 200 万円	D	☆「草津まちなか活性化プログラム」を策定。
		H 21 実績額 200 万円		
活 力 9－2	景観形成・電線電柱地中化制度を 活用した街並みの保存・再生	H 20 決算額 938 万円	D	☆宿場街道街並み形成事業の推進。 ☆電線電柱地中化に向けた検討の実施。
		H 21 実績額 810 万円		
活 力 9－3	公共スペースのバリアフリー化と 歩行者の安全確保	H 20 決算額 2,450 万円	C	☆「バリアフリー基本構想」を策定。 ☆歩行者通行部のカラー舗装や、歩行者と自転車の通行帯分離を 推進。
		H 21 実績額 7,332 万円		
備考欄				
平成22年度事業				
商店街活性化事業費補助金 81 万円				
中心市街地活性化推進費 2,457 万円				
(街あかり華あかり夢あかり 260 万円、草津 F A N づくり事業等補助金 330 万円、 空き店舗改修活用事業費補助金 828 万円、宿場街道街並み形成事業交付金 300 万円、 まちなか交流館施設管理運営費 739 万円)				

草津まちなか活性化プログラム

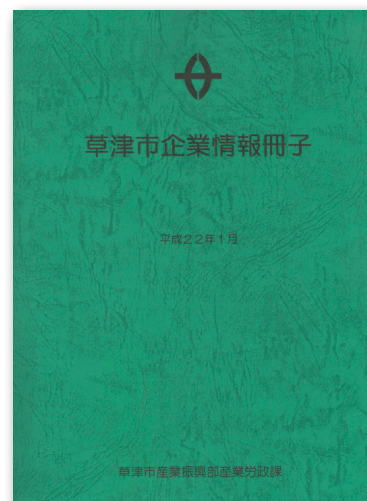
平成21年1月

草津まちづくり委員会



分類	施策	事業費	市長の自己評価	
活力 10-1	市内の中小零細・地場産業を育成・支援するための「草津市産業振興計画」の策定	H 20 決算額 725 万円 ----- H 21 実績額 6 万円	C	☆「農業振興計画」、「工業振興計画」を策定。
活力 10-2	湖南農業高校や立命館大学など市内の教育機関と連携した「草津ブランド」の創設と世界への発信	H 20 決算額 60 万円 ----- H 21 実績額 240 万円	C	☆草津ブランド創設事業検討委員会を設置。同委員会から提言書に基づき、ブランドの創設を推進。

備考欄



分類	施策	事業費	市長の自己評価	
活力 11-1	「市民ギャラリー」の設置	H 20 決算額 — H 21 実績額 —	D	☆設置に向け働きかけたが、受け皿組織が一本化できず、現在に至っている。
活力 11-2	21世紀芸術文化推進協議会等と連携した、楽団や劇団への支援の拡充 (結成支援と発表機会の確保)	H 20 決算額 87 万円 H 21 実績額 64 万円	B	☆市内の文化芸術団体で構成されている「21世紀文化芸術推進協議会」に市民音楽祭、市民文化祭を事業委託。市美術展覧会でのコンサートも展開。 ☆アミカホールの自主事業の実施。(ランチタイムコンサート)
活力 11-3	草津市体育協会のネットワークを活かした、市民スポーツの振興と選手の指導・育成	H 20 決算額 694 万円 H 21 実績額 143 万円	B	☆市体育協会への各事業委託、協力依頼。(全国スポーツレクレーション祭の開催、チャレンジスポーツデー開催、総合型地域スポーツクラブへの支援など) ☆市体育協会に対する法人化支援。
備考欄				
平成22年度事業 (仮称) 芸文祭「くさつ」開催 21 万円 アミカホール自主事業 91 万円 スポーツ振興計画の策定 312 万円 (うち委託料 296 万円) 《その他》 草津市体育協会が一般社団法人として法人化				

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
活力 12-1	お祭りなどの各種伝統行事や「草津宿本陣」 「芦浦観音寺」「三大神社砂ずりの藤」など、 有形・無形の重要文化財の保護とPR	H 20 決算額 4,542 万円 H 21 実績額 3,256 万円	C	☆国指定史跡「草津宿本陣」を中心とした観光PRと催しの実施。 ☆国指定史跡「芦浦観音寺」の公開に向けた事業の展開および指定文化財の管理・保護。 ☆三大神社をはじめとする志那三郷の3社の藤をPR。
活力 12-2	観光ボランティアの支援・育成	H 20 決算額 20 万円 H 21 実績額 20 万円	B	☆草津駅観光案内所・夢本陣観光案内所での観光案内、ボランティア育成講座の実施、観光ハイキングの実施、観光マップの作成等、活動に対する支援を実施。
活力 12-3	NPO 等と連携した「草津検定」の実施	H 20 決算額 74 万円 H 21 実績額 —	B	☆観光物産協会に委託し、市学芸員・観光ボランティアガイド・NPO 等で構成された問題検討委員会による、いつでも、手軽に、何度でも取り組めるインターネット版の草津検定「草津トレジャーハンティング」を作成。

備考欄

平成 22 年度事業

藤の志那三郷（志那町、志那中町、吉田町）創造事業費 32 万円



分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
活 力 13－1	市役所窓口の日曜日受付の開始	H 20 決算額 317 万円	B	毎月第一日曜日に転入・転出・転居に関わっての特設窓口を本庁舎に設置。
		H 21 実績額 635 万円		
活 力 13－2	「転入・転出」や「福祉」に関する窓口の一本化	H 20 決算額 —	C	☆総合案内の強化。 (電子ランダム番号自動表示プラズマテレビを設置、窓口案内員の増員)
		H 21 実績額 168 万円		
活 力 13－3	市役所職員のボランティア活動の推進	H 20 決算額 —	D	☆ボランティア活動を支援するための制度を充実。 ①ボランティア休暇における対象活動の拡大。 ②災害補償制度。(ボランティア保険の紹介、助成) ③ボランティア情報の提供。 ④市社会福祉協議会、生涯学習(ゆうゆう人バンク)の登録制度の周知活用。
		H 21 実績額 —		
備考欄				
市役所窓口の日曜日受付 毎月第一日曜日(正規職員 3 人 嘱託職員 3 人)				

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 全 14－1	市民センター（公民館）の施設改善と機能充実（専従職員の配置）	H 20 決算額 9,784 万円	A	☆市民センターのバリアフリー化のため、エレベータ未設置の9市民センターにエレベータを設置。 ☆老朽化に対応すべく、リフレッシュ工事を実施。（会議室や調理室、玄関、廊下等改修） ☆各市民センターに専従職員1名を増員。
		H 21 実績額 18,014 万円		
安 全 14－2	防災・防犯体制の総点検の実施	H 20 決算額 －	B	☆災害対策本部体制、災害時非常連絡手段、地域防災体制、消防団組織体制、防犯関係機関との連携体制、地域防犯力強化にかかる体制について見直し、検討を実施。 ☆災害時等緊急時の一斉放送は、FMくさつとの連携等により防災行政無線のデジタル化と併せて平成22年12月竣工予定。
		H 21 実績額 315 万円		
備考欄				
平成22年度事業 地域協働推進のため各市民センターへ担当する職員を配置（嘱託職員） 5,777 万円 防犯マップ作成 97 万円 防災マップ作成 192 万円				

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 全 15－1	市内での交通事故発生件数の減少 4年間で5割減(平成19年比)	H 20 決算額 352 万円	C	☆交通事故減少プラン策定に向けた協議を実施。 ☆交通安全教室等の充実。(交通安全教育指導員2名増員) ☆南草津駅周辺の自転車交通対策としてI C タグによる実証実験を実施中。
		H 21 実績額 705 万円		
安 全 15－2	市内での犯罪発生件数の減少 4年間で5割減(平成19年比)	H 20 決算額 －	C	☆青色回転灯を搭載した防犯パトロール車による市内巡回の実施。 ☆ホームページやメールによる防犯情報の配信および注意ビラの配布、街頭啓発等の実施。 ☆各学区・地区地域安全連絡協議会や自主防犯団体への支援を実施。
		H 21 実績額 524 万円		
安 全 15－3	ゴミ収集方法の見直し、減量・リサイクルの推進 4年間で3割減(平成18年度比)	H 20 決算額 1,738 万円	C	☆ごみ分別・啓発指導の強化(指導員2人増員)。 ☆町内会等の資源回収を促進。 ☆市廃棄物減量等推進審議会による分別の見直し、ごみ処理費の住民負担のあり方検討を実施。
		H 21 実績額 2,017 万円		
安 全 15－4	公共スペースのゴミ・放置自転車の一掃	H 20 決算額 2,853 万円	B	☆市内の不法投棄多発箇所重点地域図を作成し、市内パトロールを実施。 ☆学区・地区単位の不法投棄監視活動事業の促進。 ☆南草津駅自転車自動車駐車場の増設。 ☆放置自転車・バイクの放置禁止啓発・撤去・保管返還対策の強化により放置数が減少。
		H 21 実績額 1,371 万円		
備考欄		平成22年度事業		
防犯灯の整備 4,592 万円、青色防犯パトロール 737 万円(全額県負担)、 防犯マップ作成(再掲) 97 万円、 不法投棄対策 961 万円、生ごみ処理容器購入費補助 150 万円、資源回収促進費補助 2,019 万円、資源ごみ処理費 1 億 5,283 万円 交通事故減少プラン推進(交通安全指導員の設置など) 996 万円				

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
安全 16-1	市内の緑化率と公園整備率の改善 (人口一人当たりの都市公園面積6㎡)	H20 決算額 — H21 実績額 424万円	C	☆「緑の基本計画」を策定。今後、計画に基づく緑化と公園整備を実施予定。
安全 16-2	旧草津川の跡地の有効利用 (自然と調和した市民の憩いの場としての整備)	H20 決算額 — H21 実績額 —	C	☆全体の基本構想策定と優先整備地区選定を平成22年度から県と市が協力して検討することで県と合意。
安全 16-3	地域計画による大規模開発の抑制	H20 決算額 — H21 実績額 —	B	☆「市街化調整区域内における地区計画制度運用基準」を策定、運用。
安全 16-4	川と湖岸の水辺空間の美しさの保全	H20 決算額 — H21 実績額 —	C	☆「緑の基本計画」に水辺空間創出方針を盛り込み、具体的な整備箇所について計画策定。
備考欄				
平成22年度事業				
草津川廃川敷地基本構想策定 2,064万円(うち、業務委託料 1,950万円)				
平湖・柳平湖公園構想策定(ワークショップなど) 346万円、狼川河川公園基本構想策定(ワークショップなど) 374万円				

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
安 全 17－1	「自然環境保全・再生計画」の 策定・実行	H 20 決算額 120 万円	B	☆「自然環境保全・再生計画」を策定し、生き物調査、自然再生、 環境学習、地球温暖化防止等の具体的な取り組みを実施。
		H 21 実績額 —		
安 全 17－2	公共施設への太陽光発電の試行的導入	H 20 決算額 252 万円	B	☆常盤小学校と志津小学校（平成２２年度工事）に太陽光発電設備 を設置。
		H 21 実績額 —		
備考欄				
平成２２年度事業 地球温暖化防止推進事業 1,490 万円 （内訳） 省エネルギー対策 165 万円、運輸対策 537 万円、新エネルギー対策 600 万円、広報啓発 158 万円、 温暖化対策学習支援 16 万円、地域協議会運営費 14 万円				

分類	施策	事業費	市長の自己評価	
透 明 18－1	草津市のホームページの改修 (もっとわかり易く！)	H 20 決算額 192 万円 ----- H 21 実績額 374 万円	B	☆ホームページの全面改修を実施。(検索性、活用機能の向上、草津らしいデザインに変更)
透 明 18－2	予算編成過程の情報開示	H 20 決算額 525 万円 ----- H 21 実績額 —	A	☆各所属の予算要求から予算の確定までの予算編成過程をホームページにより公開。
透 明 18－3	市民への予算説明書 「草津市の予算」の発行	H 20 決算額 48 万円 ----- H 21 実績額 108 万円	A	☆市の予算を市民に分かりやすく説明した「草津市の予算」を発行。
透 明 18－4	市長直属の「法令遵守担当監」の設置による利権等の排除	H 20 決算額 0.3 万円 ----- H 21 実績額 7 万円	A	☆法令遵守監の設置や「草津市政の透明化の推進および公正な職務執行の確保に関する条例」の制定、コンプライアンスの庁内体制を整備。
透 明 18－5	不透明な審議会制度の廃止	H 20 決算額 — ----- H 21 実績額 —	A	☆審議会制度見直しを実施し、より透明性の高い審議会運営を実施。

備考欄

平成 22 年度事業

インターネット広報費 605 万円

コンプライアンスに関する取り組みなど 20 万円



分類	施策	事業費	市長の自己評価	
透 明 19－1	現場での市政対話「こんにちは、市長です！」の開催	H 20 決算額 — H 21 実績額 —	A	☆こんにちは市長です（個人・グループ）を施策として実施し、市民との対話を促進。
透 明 19－2	メールでつなぐ「インターネット市長室」の開設	H 20 決算額 — H 21 実績額 —	A	☆市ホームページ「インターネット市長室」を開設し、市民との対話媒体として活用。（市長のブログ、発言、交際費、市民との対話、市長への手紙の受け付けなど）

備考欄



分類	施策	事業費	市長の自己評価	
透明 20-1	市民参画、住民投票制度、NPO 支援などを盛り込んだ「自治基本条例」の制定	H 20 決算額 41 万円 H 21 実績額 111 万円	C	☆自治体基本条例の制定に向けて検討中。

備考欄

平成22年度事業

自治体基本条例制定費 480 万円（うち委託料 159 万円）

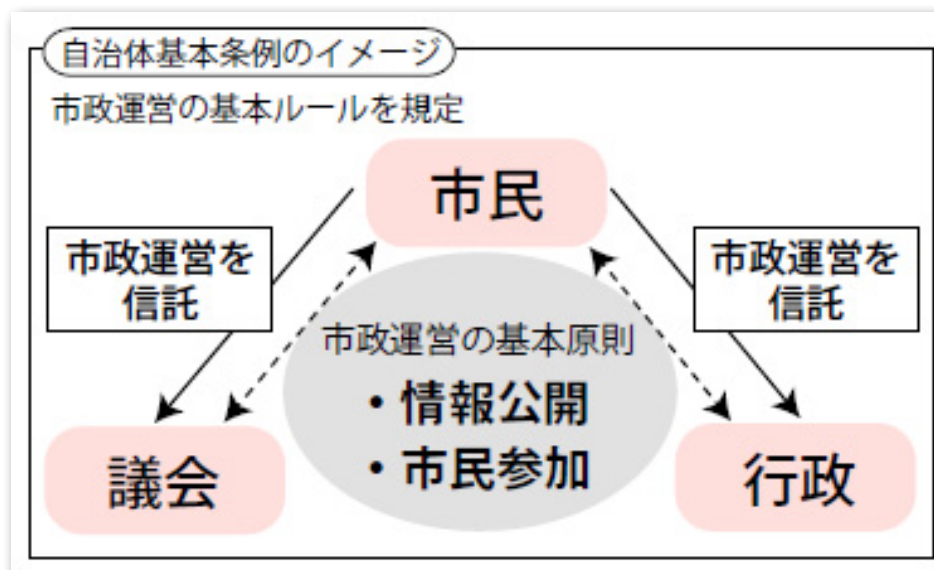
《留意事項》

マニフェストでは、平成21年3月末までに制定するとしていたが現時点においても策定に至っていない。



← 市HPより

市広報より →



追 加 施 策

分類	施 策	事 業 費	市長の自己評価	
追 加 21－1	公立小・中学校の完全冷房化！ 快適な学習環境で学力向上を図ります。	H 20 決算額 600 万円 ----- H 21 実績額 －	C	☆小中学校の完全冷房化に向けたアンケートを実施するとともに、教室の温度調査、コスト等を検討し、当面全小中学校の音楽室に空調機を設置することを決定。
追 加 21－2	公立中学校に給食制度を！ 安全な草津の食材をできる限り使用します。	H 20 決算額 370 万円 ----- H 21 実績額 －	C	☆市の予算を市民に分かりやすく説明した「草津市の予算」を発行。 ☆スクールランチ検討委員会を設置し検討の結果、業者弁当をスクールランチとして利用。
追 加 21－3	女性検診の公費負担の拡大！ 女性検診の充実。 (子宮ガン、マンモグラフィー検診)	H 20 決算額 1,525 万円 ----- H 21 実績額 3,440 万円	B	☆自己負担金の減額実施、受診勧奨のための啓発、個別通知の実施。
追 加 21－4	小児医療費（入院費）の無料化を 中学校卒業まで 中学校卒業までの小児医療費（入院費）の無料化。	H 20 決算額 － ----- H 21 実績額 －	A	☆（再掲）中学生までの入院にかかる医療費が無料となるよう、保険適用医療費の自己負担分を助成。
追 加 21－5	公益通報の外部窓口の設置 公益通報者（内部告発者）を解雇等の不利益な 取り扱いから保護します。	H 20 決算額 1 万円 ----- H 21 実績額 －	A	☆公益通報に係る規則を改正し、外部相談員を設置。
備考欄				
平成22年度事業 公立小学校冷房化事業 392 万円				

【市長の自己評価基準】 A：着実に実施し、具体的成果 B：概ね順調で、一定の成果 C：課題等あり、引き続き努力 D：具体的な取り組みが不十分 E：具体的な取り組みに着手できていない

市民によるマニフェスト検証大会実行委員会

発行日：2010年8月1日